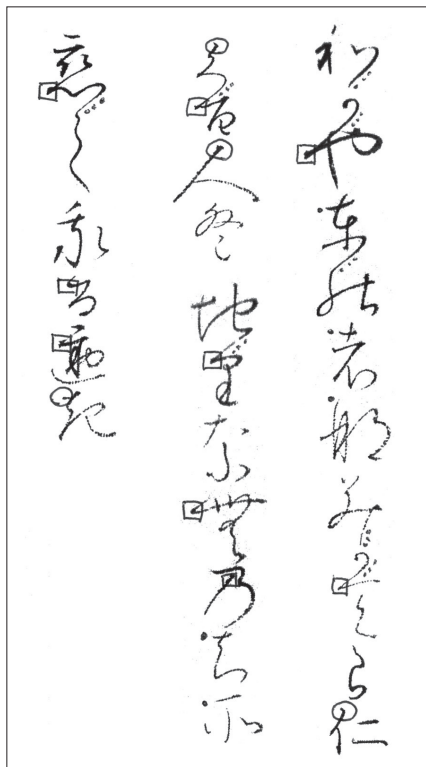


◆半紙三行たて書きに臨書して下さい。出品料440円



ぎよぶつ 御物 和漢朗詠集

第七回

1、字句 和可也東能者那美可天良仁久留人盤
地里奈無乃知所戀之我留邊起

2、形式 半紙をたてに使い、小筆で三行に臨書する。一行目「和可く良仁」、二行目「久留く乃知所」、三行目「戀之く邊起」。落款は三行目に「〇〇臨」と入れる。

3、概観 今から二三〇〇年程前に、漢字が中国から日本に伝来しました。そして奈良時代末期の七八〇年頃、漢字の字義を無視し、種々の工夫をして音標文字(表音文字ともいう)として書かれたものの代表が「万葉集」です。この音標文字を『万葉仮名』と呼びます。「万葉集」は、漢字の楷書で書かれているように見えます。楷書の万葉仮名が、平仮名となっていく途中の草書体の姿が「草仮名」です。

今回の臨書シリーズ第四回で「草仮名に挑戦」しました。今回「草仮名に挑戦第二弾」として『仮名に近づくと』『仮名にとけ込む』臨書です。「草仮名は仮名である」の意識をもって臨書してみましょう。

4、学習のポイント:草仮名は仮名であるの意識で

◎注意点は毎回同じ。連綿にも注意する。

①すーっと入筆(・) 「和・東・者・那・知・所」

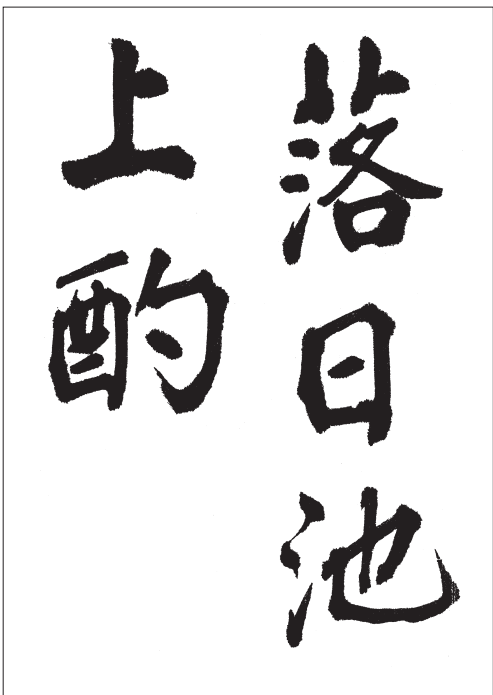
②止まって入筆(〇) 「仁・久・人・乃(筆順に注意)・起」

③ゆったりと連綿(∴) 「和・可・東・美・可・久・地・戀」

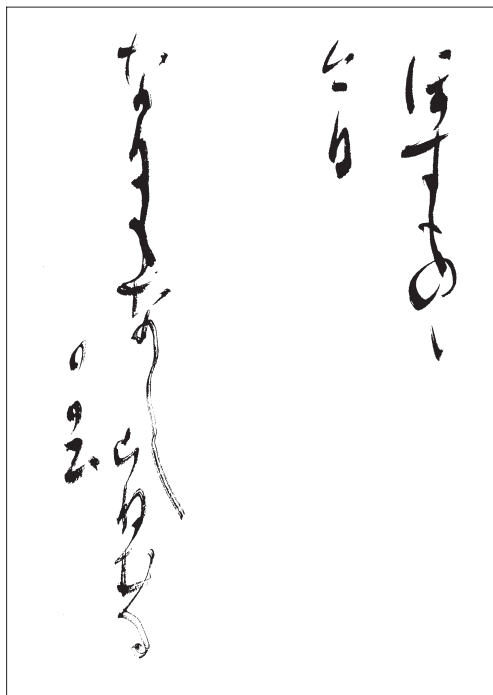
④あたって方向変換「や・天・留・里・無・戀・る・邊」

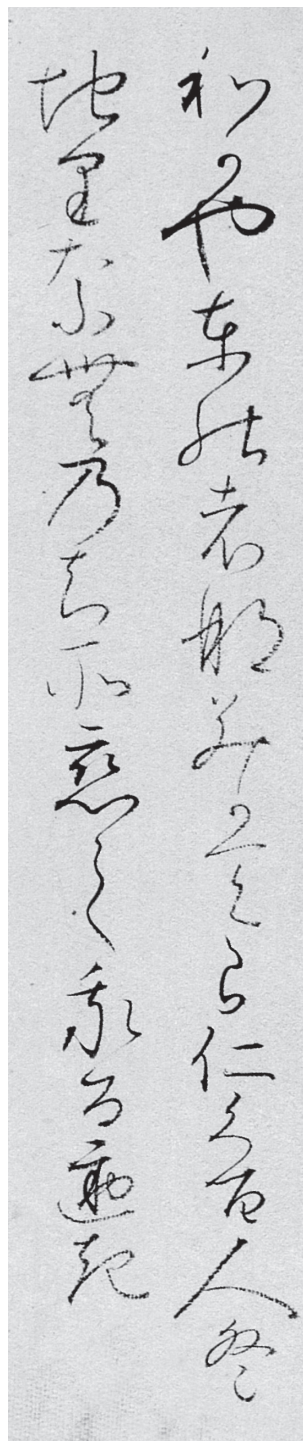
半 紙 課 題 (予 告) (十二月二十二日締切)

平岡華雪先生書 落日池上に酌めば(清風松下に来る)(孟浩然)



訳:夕日かけに池上で酒を酌めば(清らかな風が松の下から吹いてくる)。平岡華雪先生書 干すもの、今日何もなし山眠る(潤)





条幅随意部として

『わかやとのはなみかてらにくるはちりなむのちそ戀しがるへき
『和可也東能者那美可天良仁久留人盤地里奈無乃知所戀之我留邊起』

と、半切二行に臨書する。墨つき、潤渴を是非学んでほしい。落款は全体の調和を考え、位置・墨量に注意して「○○臨」と入れる。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご活用下さい。抜粋可。

条幅部は一枚目無料、二枚目から五五〇円。

バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「臨」と表示されます。

一字書（十一月二十二日締切）

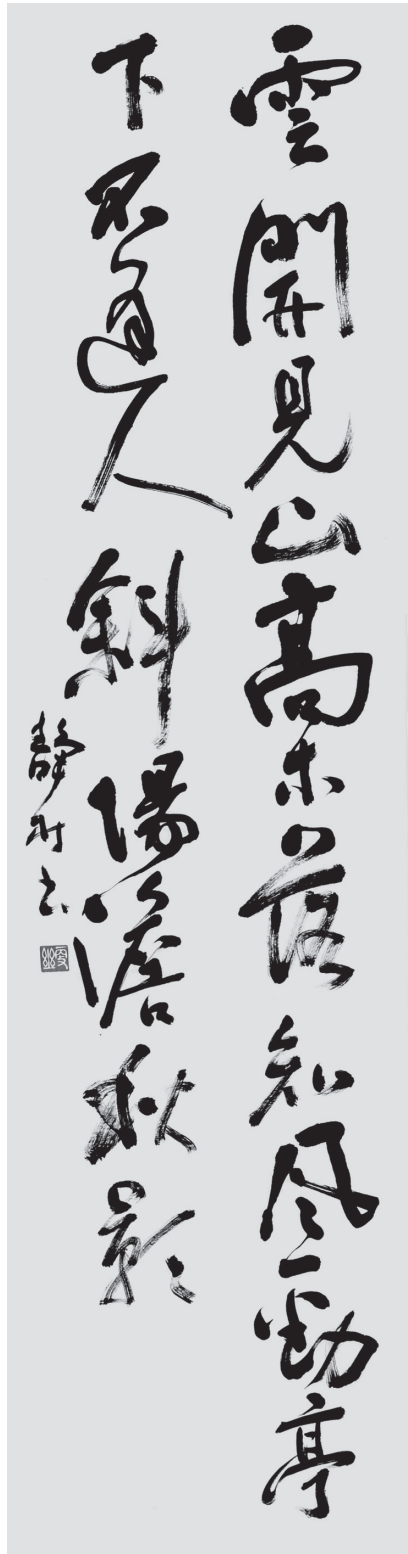
課題

象

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

A 鈴木静村先生書

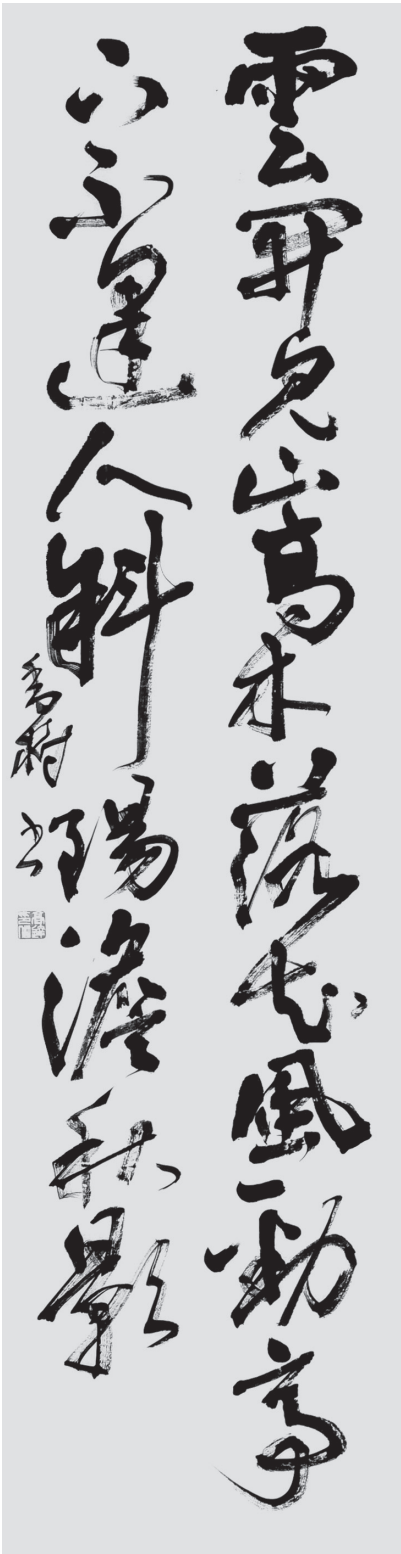
雲開見山高 木落知風勁 亭下不逢人 斜陽澹秋影 (下同)
 雲開いて山の高きを見、木落ちて風の勁きを知る。亭下人に逢わず、斜陽秋影澹し。



B

高橋香樹会长書

五言絶句20文字。雲、云を意識のこと。開、行草共字体が多い。字典で調べを。高、ハシゴ高、高ガマエ左右に張り安定を。木、この作では小
 さめに变化。落、冠大きく。不逢人、連綿を交じえ躍動感。澹、旁部分、筆路的確に。墨継ぎは高風不陽。墨継ぎには定めはない。前後、左右行の
 照応によって対処。捉われることなく、表出効果を工夫のこと。



二十字を二行におさめるには、大小の文字を上手く配することが重要で、「雲・開・高・落・逢・斜・澹・影」を大きめに、他は少し小さめにしまし
 た。連綿線も適宜使用するのも大切。「亭」の末筆を上になえ上げたが、これは二行目に続くの意。古典に見られます。墨継ぎは、「風」と「人」。

訳：雲間に高い山の頂が見え、強い風が吹いて木の葉が落ちる。あずま屋辺りには人はなく、秋の夕日が淡く照らしている。

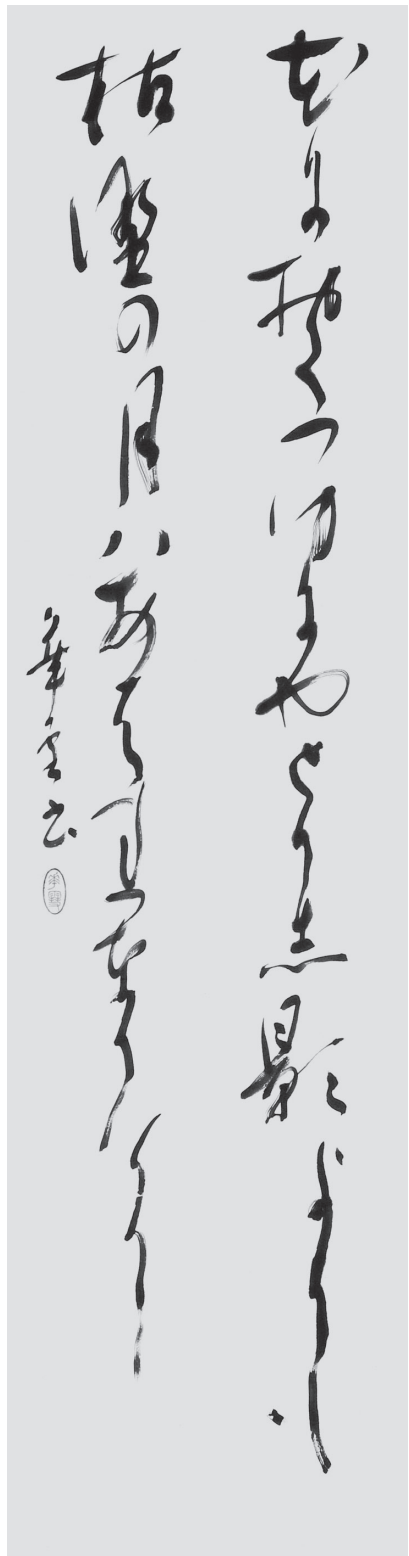
予告 (十二月二十二日締切) 浮雲遊子意 落日故人情 (李白)

◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A 平岡華雪先生書

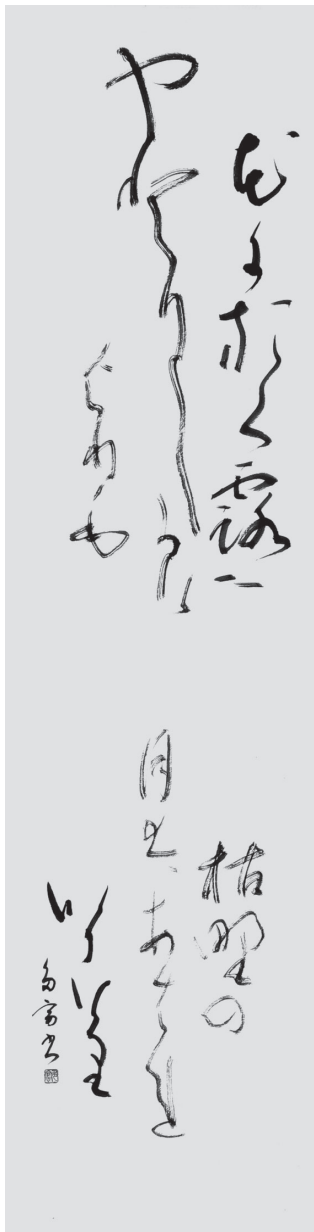
花におく露にやどりし影よりも枯野の月はあはれなりけり(山家集)
花尔おくつゆ尔やとり志影よりも枯野の月八あ者連なり介り



B

森 多富先生書

花尔におく久露にや登りと之可介し与利毛枯野の月盤はあ者は連れなりけり



学び方

歌意：秋草の花の露に宿った月の光よりも、草木も枯れ果てた野を照らす冬の月の光は、一層しみじみとした趣がある。
作品制作には、個人々々色々なアプローチの仕方があります。今回は、上下に構成してみました。上下の気脈が通じる様に気を付け、上部二行目に渴筆をきかせて山場とし、下部は、静かに収めました。
多行書きは、稍もするとうるさい感じになり易いので、墨量・線質や字間・文字の大小と共に、余白にも気を配り、挑戦して下さい。

西行(一一一八〜一一九〇)
鳥羽法皇の北面の武士だった藤原義清が、二十三才で出家し西行となる。七十三才で没するまで、生涯歌を詠み続けた。
山家集は、西行の代表的歌集だが、一度に今の形になったのではなく、何度も改編を経て、治承四年(一一八〇)頃までに成立したと考えられ、一五〇〇首余が収録されている。

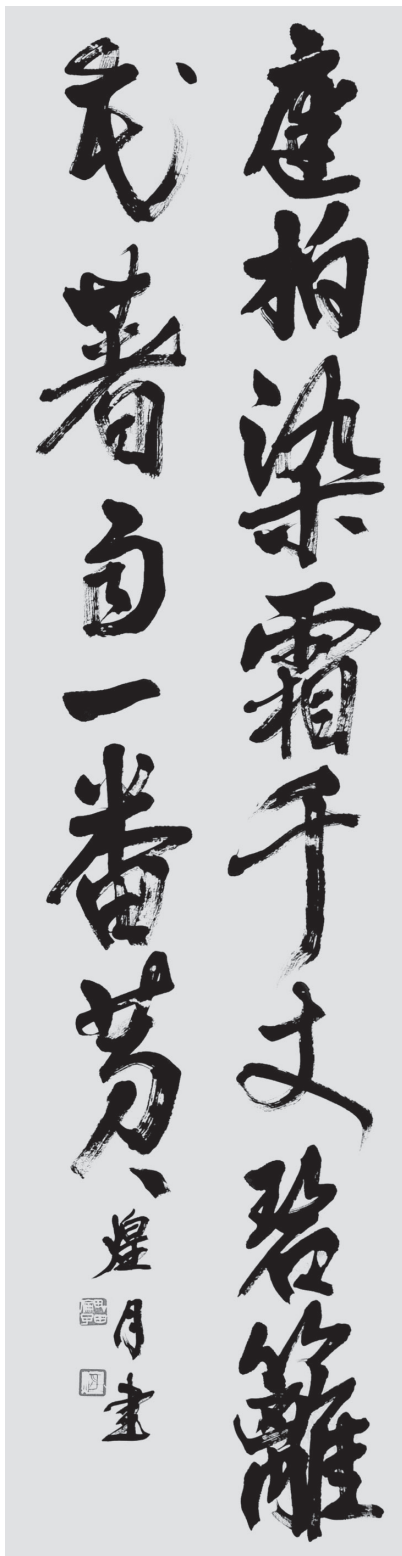
予告(十二月二十二日締切)

雪ふれば冬こもりせる草も木も春に知られぬ花ぞさきける(古今和歌集 紀貫之)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

町田 煌月 先生 書

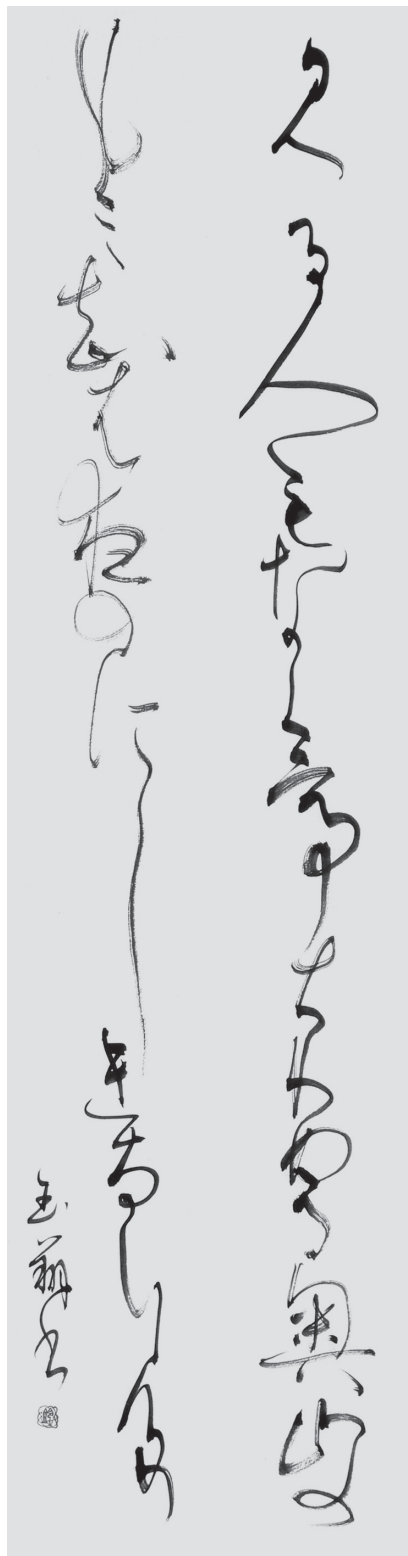
庭柏染霜千丈碧 籬花著雨一番黄 (彭汝砺)
庭柏霜に染む千丈の碧、籬花雨を著け一番黄なり。



訳：庭の柏は霜のためにかえて青く千丈を高く秀で、垣根の菊花は雨をおびていっそう黄色をました。

福田 玉翔 先生 書

見る人もなくてちりぬる奥山のもみちは夜の錦なりけり (古今和歌集 紀 貫之)
見る人もなく亭ち利ぬる奥山のも三知者夜のにしき奈り介利

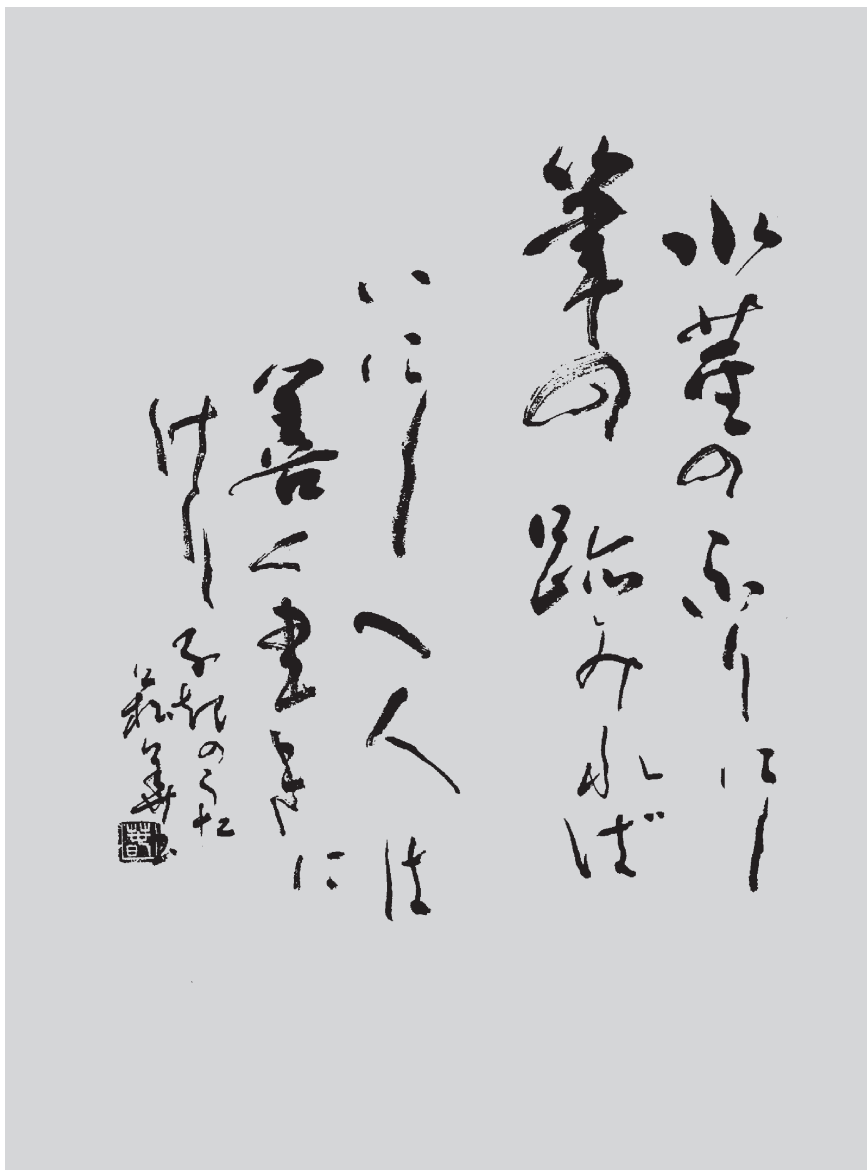


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

小暮 菘華 先生 書

水茎のふりにし筆の跡みれば
いにしへ人は善く書きにけり
(正岡子規)

今回の短歌は散らし書きではなく、散文的に書いてみました。一、二、三句を主張とし、空間を設け、四、五句はやや控え目に、連綿線を使わず、放ち書きとしました。



正岡子規(一八六七〜一九〇二)
愛媛県松山市生まれ。本名、常規。幼名、升。別号、獺祭書屋主人、竹の里人。短歌、俳句、ならびに写正文による文章革新運動を推進、『ホトトギス』を創刊、根岸短歌会を興して高浜虚子などの門流を輩出した。著作『竹の里人』『俳諧大要』『病床六尺』など。『うたよみに与ふる書』では古今集を否定、万葉集を高く評価

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

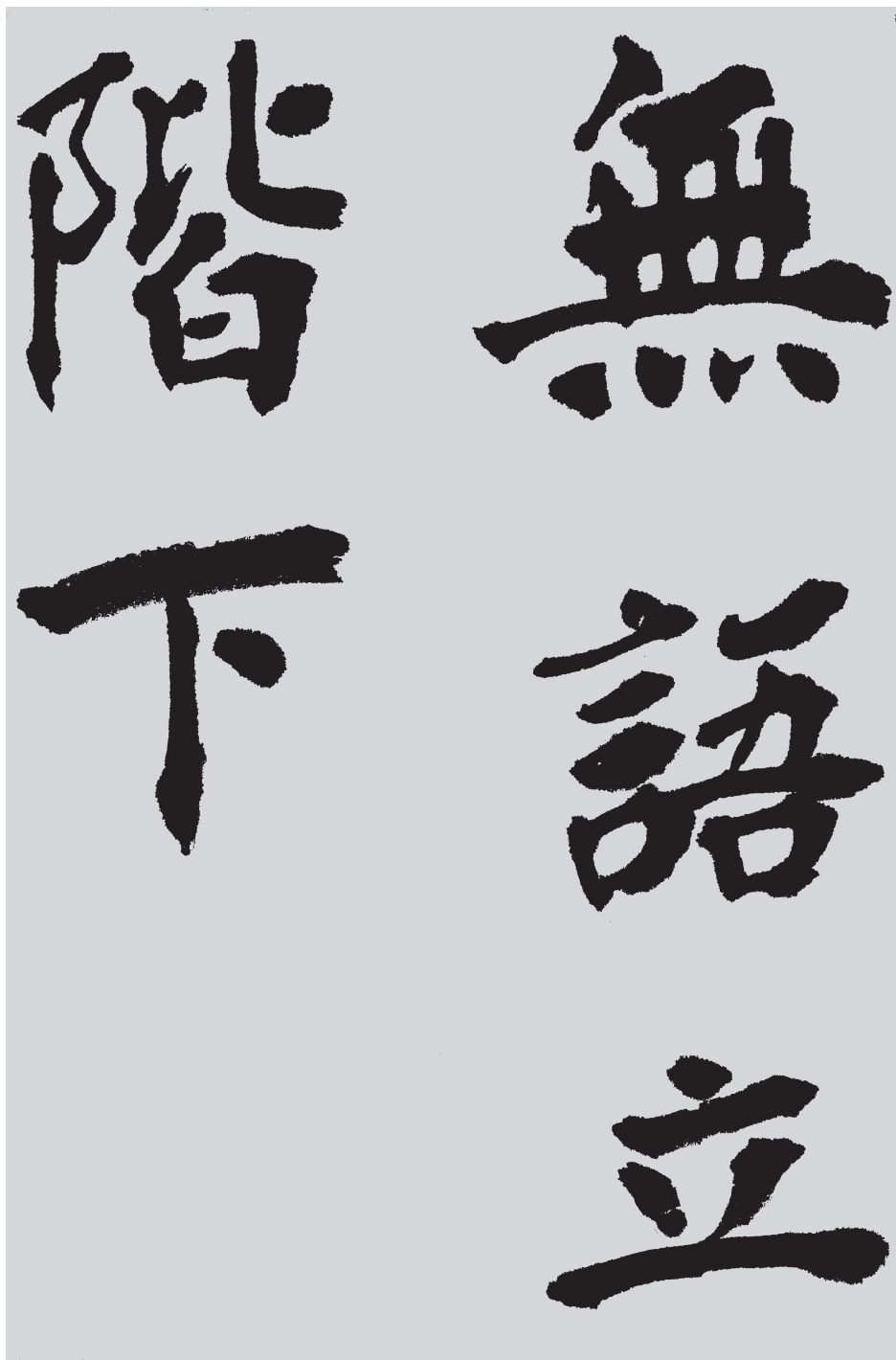
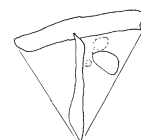
平岡華雪先生書

語無く階下に立ち(許燕珍)

訳：語ろうことばもなくきざはしのもとにたたずみ

〈点画のつけはなし〉

「立」三画と末画は付けません。四画目は脈絡上、付けて書くことが多い。「下」の点は古典もほとんど離れている。点画の付け離しは古典で確かめてほしい。

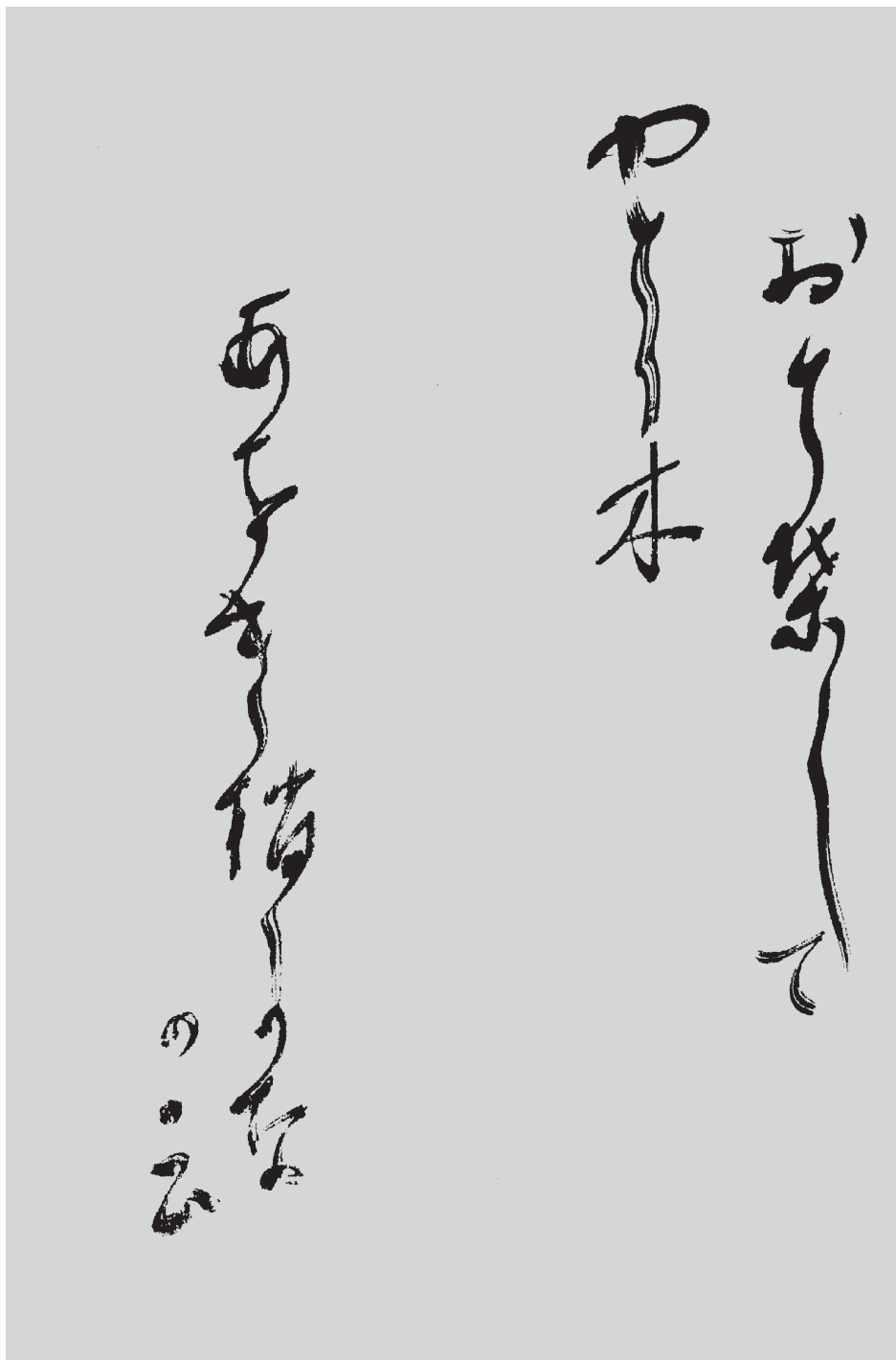


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

落葉してやどり木青き梢かな（正岡子規）
おち葉してやとり木あをき梢かな



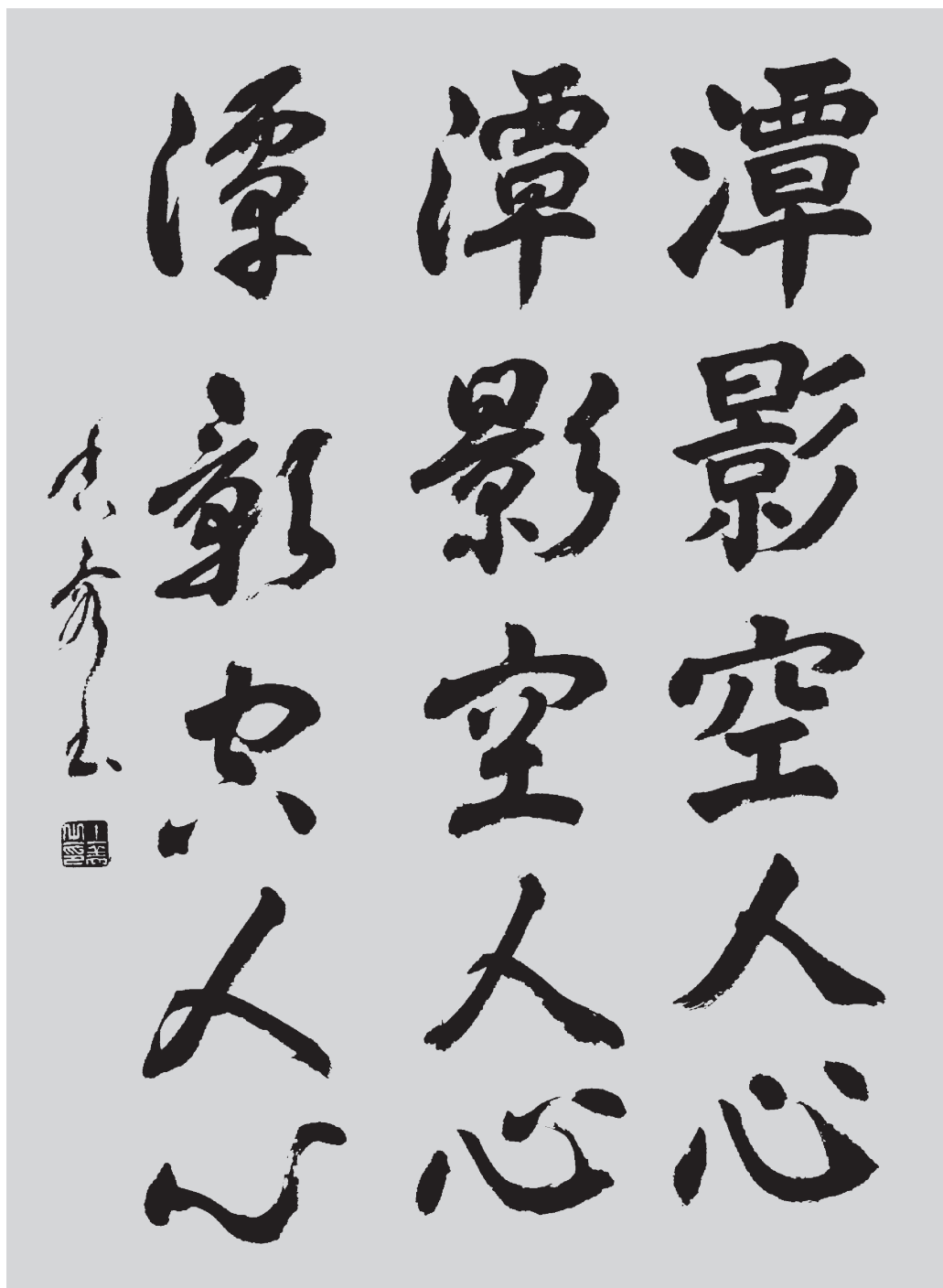
へ「揺れ」（動き）への注視を——
左群の中心線を基調に各字の揺れを見ると、「き」は全く左方に出て、「梢」は偏と旁を放し右方に字幅をとる。次の「可」は「肖」側に付けて右へ外している。「な」で中心線に戻し、行の統一を果たしている。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

川上香蓉先生書

潭影空人心（常建）
潭陰は人心を空しうす。

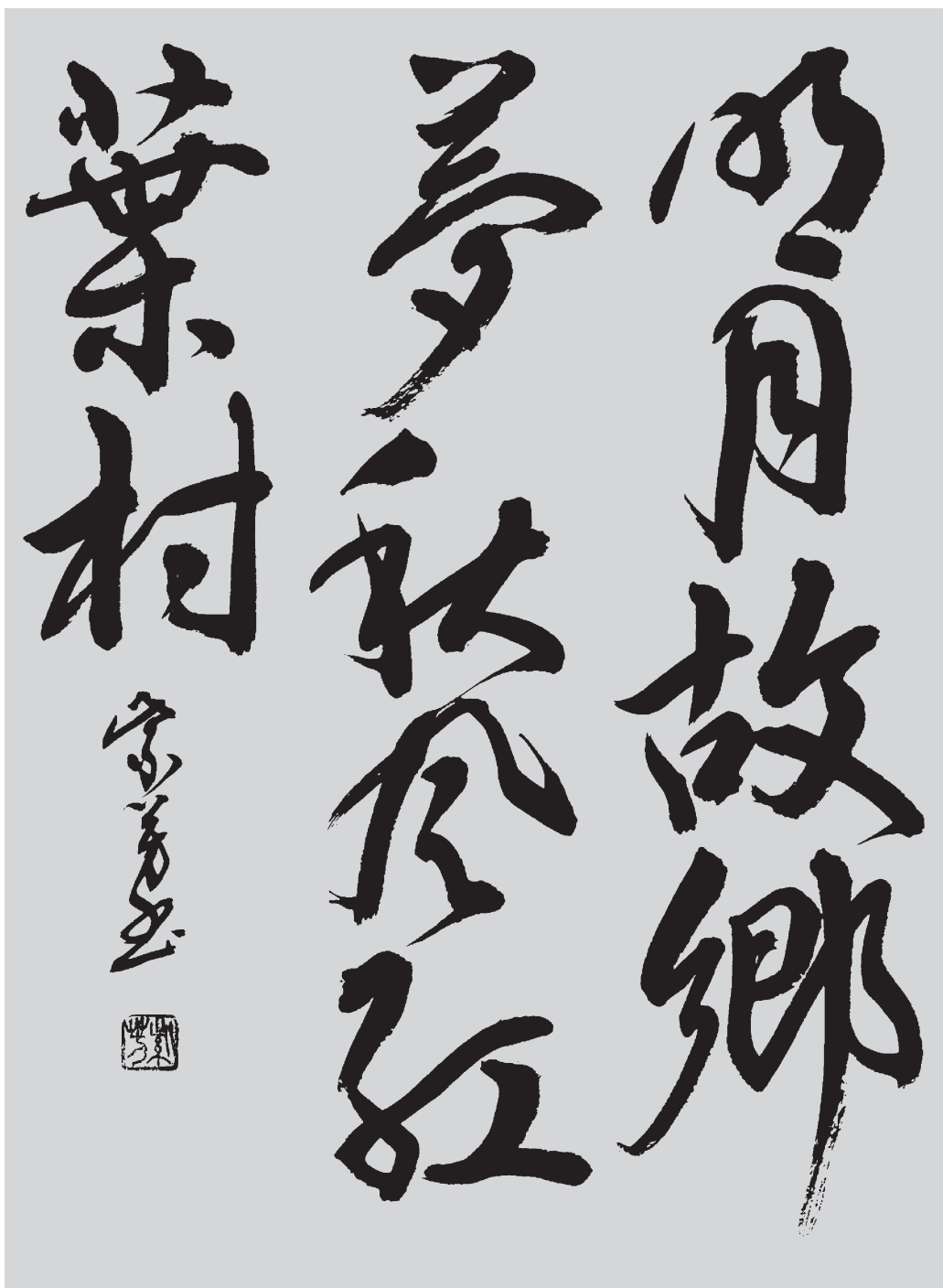


訳：静かな淵の光は人の俗念を洗い清めてくれる。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

高橋紫芳先生書

明月故郷夢 秋風紅葉村（李成大）
明月故郷の夢、秋風紅葉の村。

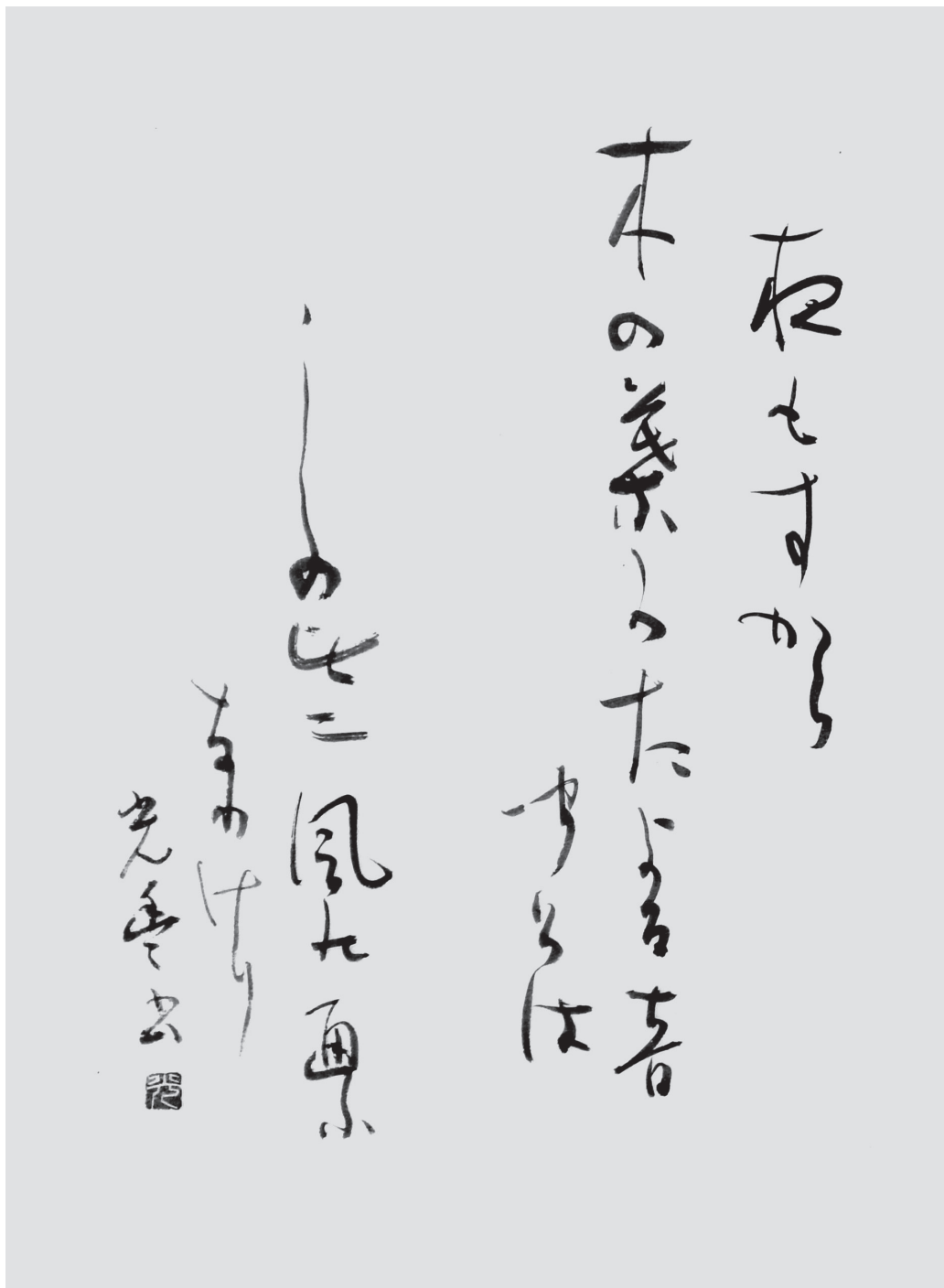


訳：明らかにさえる月は故郷を思う夢を照らし、秋風は紅葉の村を吹き渡るのである。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

絹
村
光
豊
先
生
書

夜もすがら木の葉かたよる音聞けばしのびに風の通ふなりけり
夜もすから木の葉かたよる音聞けばしのびに風の通ふなりけり
（熊谷直好）



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

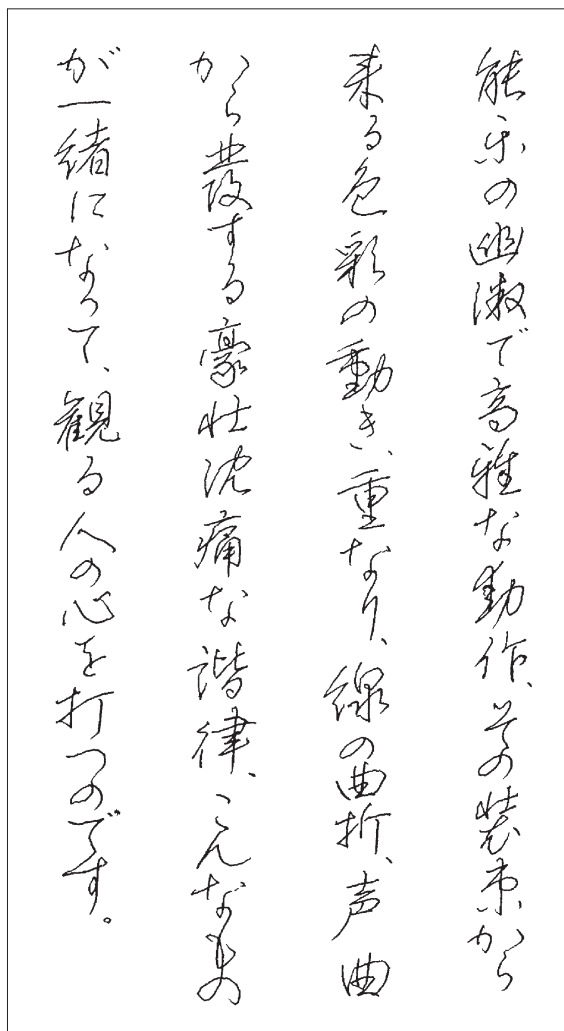
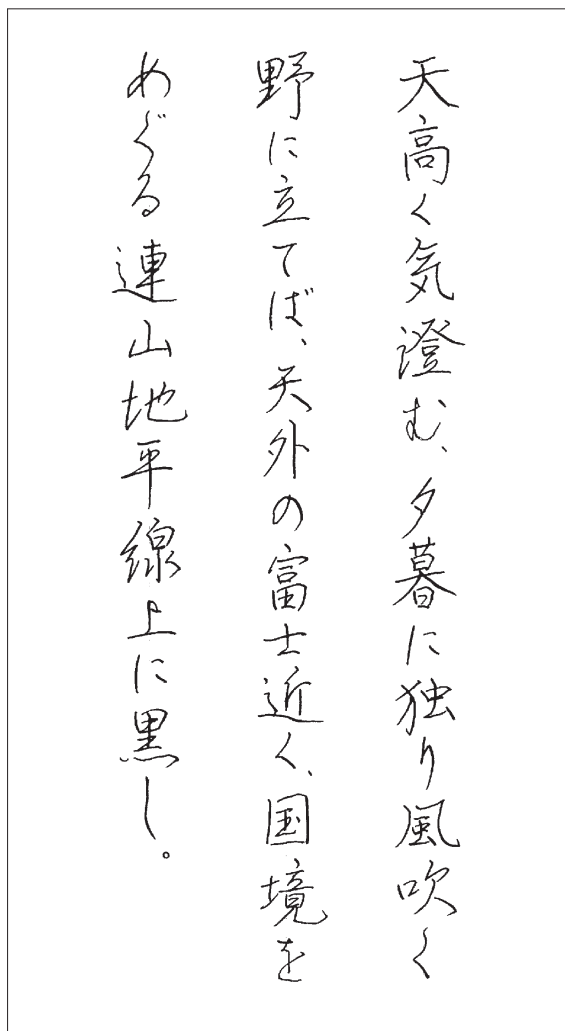
湯澤春翠先生書

稲畑曄穂先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

正教授 創作部門 (自運作品、自由形式) で出品。二名の審査員による合計点数で優秀作品掲載。



課題1 (初段階以上)

能楽の幽淑で高雅な動作、その装束から来る色彩の動き、重なり、線の曲折、声曲から発する豪壮沈痛な諧律、こんなものが一緒になって、観る人の心を打つのです。

『簡潔の美』 上村松園

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択し、ペンまたはボールペン(黒色)を使用すること。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 受験料は一、〇二〇円
- (4) 会員外は会員外出品料四六〇円を加算
- (5) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと。)
- (6) 課題1 九九〇円
- (7) 課題2 五五〇円

課題2 (初段階以下)

天高く気澄む、夕暮に独り風吹く野に立てば、天外の富士近く、国境をめぐる連山地平線上に黒し。

『武蔵野』 国木田独歩